

～ 労働基準監督官試験へ向けてのアドバイス～



氏名:河合 哲也
所属:宮城労働局監督課
任官年月:平成28年10月



1. この仕事を選んだ理由は何ですか？

法律関係の勉強をしていく中で労働法に興味湧き、労働関係の仕事を専門にしてみたいと思い、労働基準行政の第一線にいる労働基準監督官を希望しました。

2. 1次試験対策としてどのような勉強をしましたか？

私は、文系区分の労働基準監督官A区分を受験しました。

教養試験対策は、判断論理・数的処理の勉強が中心でした。まず、公務員試験の薄い問題集1冊を2回程度行い、その後は過去問などを使って演習を繰り返していました。問題を解くに当たっては、1～2分考えて解き方がわからなければ解答例を見て、実際に手を動かし思考過程を覚えました。

また、私は、当時仕事をしており、まとまった勉強時間を確保することが難しかったため、朝起きてから30分と夜寝る前の30分を1次試験対策に充て、タイマーで時間を制限し短時間に多くの問題を解くことを意識していました。さらに1日のタイムスケジュールをできるだけ細かく書き出し、覚えるべき用語などを手帳に書き入れ、通勤などの移動時間を利用して確認するなど、限られた時を効率的に使うよう意識して勉強しました。

3. 1次試験を突破する上で何が必要ですか？

文系区分で中心に勉強すべき科目は、教養試験では、判断論理・数的処理、専門試験では、労働法及び労働事情です。また、教養試験は時間が足りなくなる可能性が高いので、問題を解く順番も重要です。

専門試験の論文では、解答の前にまず構成を考えてから解答した方がよいと思います。

4. 2次試験の面接を向かえる上でのポイントは？

面接官からの質問に対しては、面接官の目を見て、誠実に素直に答えることができればよいのではないかと思います。実際に私は質問に対して回答する時間を要した時もありましたが、その質問に対しては、思ったこと・考えたことを素直に答えました。